

融資稟議ワークフローシステムは、パッケージを雛形システムとしてご提供させていただくことで、従前よりお使いの融資稟議の文化を継承させた稟議ワークフローシステムを構築することができます。このシステムの導入により、処理時間の大幅な改善が図れると共に、稟議書の適切な運用管理が可能となります。

## システム化の狙い

### 融資稟議支援導入 阻害要因

- ・融資稟議書は紙ベースで運用  
融資稟議は紙ベースで運用しているため、スピーディな処理ができない。過去案件の閲覧でも、紙の量が多く煩雑で運用に苦慮している。
- ・導入効果部分が不鮮明  
融資稟議は従前から行われている中核業務であり、稟議書の作成や回付のためのシステム投資に、どの程度の効果があるのか見極めづらい。

### 融資稟議ワークフロー 実現に向けて

- ・融資稟議ワークフロー構築  
融資稟議ワークフローシステムを構築することで、まずペーパーレスによる運用が可能になります。また過去の決裁案件を基にした稟議書作成、案件毎の進捗管理機能などにより、融資稟議業務を効率よく、スピーディに運用することが可能になります。

## 機能概要

### 融資稟議ワークフローシステム

- ・融資稟議書作成、回付、承認、決裁までの一連の業務を電子化したシステム。本システムの各機能を活用することで、効率的な融資稟議ワークフローシステムの運用が可能になります。
- ・融資稟議ワークフローシステムは融資稟議業務を支援する基本機能の他、お客様のご要望をお伺いし、お客様の業務に沿った柔軟なシステム構成へとグレードアップ（個別対応）させることも可能です。  
(例)
  - (1) 所見のテンプレート(雛形)化対応
  - (2) 帳票の個別策定対応
  - (3) 柔軟なワークフロー設定機能
  - (4) 融資支援システム構築に向けた段階的なシステム化拡張
  - (5) 融資統合DB対応

## システム構成

